

第21号 昭和52年12月3日
 発行所 横浜市神奈川区
 沢渡4の2
 神奈川県社会福祉
 協議会保育分科会
 発行人 安部龍巖
 題字 故内山岩太郎筆

保育かながわ

保母の日制定の感謝

神奈川県保母の日制定促進会長

平野恒

人間の喜び、また幸福というものはそれぞれによって異なる。このたび、長州知事が私共の多年の宿望「保母の日」を全国に先き駆けて制定されたことは万々歳である。昨年十一月、社会事業婦人懇話会委員が、多年の懸案であったこのことを取りまとめ知事に陳情をしたのであるが、この間約一年も過ぎた。一方、県民生部児童課をゆきぶり、更に目的達成を求めて保母の日制定促進委員会を結成した。期せず私が委員長に満場一致で推されたのである。

意された部屋に知事、両副知事、部長、私が着席、保育に関するすべての質疑応答は十分余で終った。いみじくも翌朝の新聞は貴重な紙上にもれなく報道されたのである。理解された喜びと感謝、私の胸は一杯であった。

事実を思うと私は幼児なみである。ともかく、子供と共に歩いて五十年、保母と共に働いて五十年、よき保母を養成する横浜女子短期大学を育てて四十年、生きてこの日を迎える喜びは、日本晴れの秋空を越えて渺々たる海を渡る壮快

な喜びである。更に、誰れしも気になる保母という職業、保育所、その他施設の標準的とする年中休みない働きはもはや問題でない。知事は、ともに灯運動を掲げて県民一人一人の眼覚めを叫んでいる。この際、五千五百余の保母が一致して、この世に生を得てきた一人一人の子供の幸せのため、尊い使命を果すべく真心と熱情を捧げつづけるなら、この社会も新しいよき時代を迎えられるのだと思う。
 (横浜女子短期大学学長)

思い出をたどれば私の駆け出し時代に及ぶ。保育所の数は十カ所くらい、養護施設は二・三カ所に過ぎなかった。横浜、川崎両市とも特別市制には遠く、県の総人口も六十四万人程度であった。私自身、なんの予備知識もない園長であったが、私の胸に焼きつくほどこたえたことは保母のことであった。その人間性、資格、待遇等親にかわるこの重要な役割、ある面では国の親でもあるこの「保母」。

ある園長が、前園長の思い出を語って三十年以上も前、平野さんと東北旅行をしたら始めから終りまで保母のことを云い続けたというのである。私には東北のリンゴソバを喰べることに熱心すぎたと思われたが、つきまといつて消えぬ

保母の日の集い

主題

両親に代り、日々保母が児童福祉の増進に極めて重要な役割を果していることに鑑み、

保母の功勞に報いると共に、

保母の勤勞意欲の高揚と社会的地位の向上を図り、広く県民の理解と認識を高めるため「保母の日」を制定し、児童福祉の向上を図る。

プログラム

○保母の日宣言

主権者あいさつ

運営委員長あいさつ

保母代表宣誓

保護者代表あいさつ

○保母賞贈呈式

来賓祝辞

○アトラクション

期日

昭和五十二年十二月三日(土)

十三時三十分開会

会場 県立音楽堂



定刻、十数名の記者が着席、用

「保母の日」制定を喜ぶ

保母の日運営副委員長

安部 龍 藏

保育事業に対する社会的要
関心が、社会情勢の変動と共に益
益強今日、この保育の第一線に
働く、聖職としての保母の功勞に
報いると共に、保母の勤勞意欲の
高揚と、社会的地位の向上を図り
更に県民に対し、保育の重要性と
保母の働きについて理解と認識を
高めるために神奈川県「保母の日」
が制定されましたことは長い間願
ってきた私共保育関係者にとつて
無上の喜びと感激でございます。
施設経営の私共と共に保母さん
も、園児の保護者もこの「保母の
日」を有意義に迎え、より児童福
祉の増進に精進していただきたい。
私は、つねに言っているように、
保育の心は母心であり、保母は補
母である。

保母のみなさんノ

色々の面で不満もあり、みだし
得ない問題もたくさんあることと
思います。しかし、養護と教育
の大きな責務を感じ、花の幼子を

はぐくむほこり。つちかうほこり、
みちびくほこり、を知って心明る
く、心豊かな保母者となつていた
だきたい。

このことを願いつつ第一回の保
母の日を迎えさせていただきます。
(神奈川県保育会長)



十二月第一土曜日を「保母の日」
に制定という見出しで各新聞が報
じた。こんなに大きく保母関係の
記事が出たのは久しぶりの事だつ
たので正直言つてうれしかった。
制定促進委員会の皆様にもずお
礼をのべさせていただき、この意
義ある「保母の日」を大切に一人
一人が認識をして、大きな輪に広
げていきたい。

相模原市立大沢保育園 吉田久子



「保母の日」の制定。待ちに待
つた日をきっかけに、新たに、保
母の社会的地位の向上を旨とし保
母の一人一人がその仕事を充分協
義し、豊かな、ゆとりのある保育
に、努力していきたいと思つて
身分法の問題も、刻々と、進めら
れる現在重ねて、うれしく思つて

平塚市平塚保育園 古賀恭子



「保母の日」制定され喜びにたえ
ません。この制定に際し長い期間
保育関係者の御努力を感謝致しま
す。私達はこの制定を無意味に送
ることのないようこの機会に各保
母に与えられた職務の認識と保育
の重要性を自覚し身分の社会的地
位向上と福祉発展に努力、努力。
保母会発展に努力、努力!!
横須賀市保母会 関口由紀子
熊谷純子



全国に先がけて、神奈川県が取
り上げてくださった事は大変喜ば
しい事です。保母の身分法をノ
地位の向上をノ と叫ばれている
今日、私共の意識はいよいよ充実
されなければならぬと思つて
保母の日がより高いものとなる
様に一人ノが力と心を儘して参
りたいと思つて。中央の諸先生
方の蔭の御努力を深く感謝申し上
げます。

伊勢原市保母会 井田喜美子



保母の社会的地位の向上を図り
更に県民の理解と認識を高めるた
めに保母の日制定がきまり本當にう
れしく思つて。と同時に県当局
の深い御理解と制定運営委員会の
先生方に感謝致します。保母であり

ながら新聞紙上で知り勉強不足と
反省致しております。保母の日制定
を基にして保母ひとりひとりがもう
一步努力し保母の日を有意義にして
いかなければいけないと思つて
南足柄市塚原保育園 山口裕子



「保母の日」が制定されると聞き
大変うれしく思つて。又、各関
係者の方々の御努力、お骨折りに
感謝いたします。ただ私達保母は、
制定を喜ぶだけではなく、これか
らも、父兄の保育に対する理解、
協力により一層濃くなり、保母自
身実となる保母の日にみなが上
げよう努力すべきだと思つて
藤沢市辻堂保育園 野中恵美子



「保母の日」制定を聞いて
新聞記事から「保母の日」が制定
されたニュースを聞き、まず感じ
た事は、「これからますます頑張らな
くちや」と心新たにしよう」という
ことでした。同時に回りではあまり
騒いでないので決まったこれからは
大変なので皆で協力して実のある
保母の日にしたいと思つて
奈野市鶴巻保育園 杉浦優子

保母の社会的地位向上を図るた
め保母の日が制定されるよう制定
促進委員会の努力により全国に先
がけて認められた事は大変うれし



「保母の日」制定ということが
決まって、まずはじめにお休みの
の関連は、どのような内容で行わ
れるのかしらと保母でありながら
思つてしまいました。不安と期待
がかさなりあつた気持ちでうけと
めました。保母一人一人がもりあ
げていくような形が大切というこ
とを心にとめて第一回保母の日に
むかえたいと思つて
大船保育園 青山文子

いことですが、絵に書いた餅では
栄養になりません。保母全員が参
加し有意義な一日を過せるよう県
としても各自自治体、保育園長にP
Rして楽しい保母の日になるよう
に一層の努力をお願いします。
大和市若葉保育園 瀬尾友子



保母の仕事についてから早や十
二年。本当に無我無中で、過ごし
てきてしまつたという気がする。
でもその中で、いつも感じること
は保母の仕事の重要性と、この仕
事のすばらしさである。下ずみで、
コツコツ仕事をしてきた保母達に
全国に先がけて保母の日が制定さ
れた。ここであらためて保母一人
一人が、もう一度考えてみようで
はないか。ほんとうに子どもたち
のこれからのしあわせのことを。
茅ヶ崎市立小和田保育所 河島末江子



「保母の日」制定ということが
決まって、まずはじめにお休みの
の関連は、どのような内容で行わ
れるのかしらと保母でありながら
思つてしまいました。不安と期待
がかさなりあつた気持ちでうけと
めました。保母一人一人がもりあ
げていくような形が大切というこ
とを心にとめて第一回保母の日に
むかえたいと思つて
大船保育園 青山文子

保母の社会的地位向上を図るた
め保母の日が制定されるよう制定
促進委員会の努力により全国に先
がけて認められた事は大変うれし



「保母の日」制定ということが
決まって、まずはじめにお休みの
の関連は、どのような内容で行わ
れるのかしらと保母でありながら
思つてしまいました。不安と期待
がかさなりあつた気持ちでうけと
めました。保母一人一人がもりあ
げていくような形が大切というこ
とを心にとめて第一回保母の日に
むかえたいと思つて
大船保育園 青山文子



女性の世に寄せて

「保母の日」制定に

あたつて思うこと

京浜女子大学長

松本尚

先日、河野謙三先生と対談させて頂いた時、「日本の歴史は愛と汗の歴史である。愛なき社会は暗黒となり、汗なき社会は墮落となる」といわれたが、今の社会は、学校も含めて混乱と腐敗の中にあるといつても過言ではない。

ところで、私に二歳の孫がいる。十分程度のおもりはいいが、三十分一時間となると、子供好きの私も悲鳴をあげる。

又私は、幼稚園の園長もしているが、幼稚園で朝礼をし、園児と十分か二十分遊ぶのは楽しい。しかし、前述の孫のおもりの如く、終日ともなれば心身共に疲れ果ててしまうであろう。

この点、保育所で更に他の施設で、保母さんが五人六人更に十人二十人と多数の幼児を長時間にわたつて保育しているのを見るにつけ、気の使いよう体の使いようたるやほんとうに大変なことで、まさに「愛と汗の毎日」である。

ことであると、これ又思いを新たにしている。

◇ 保母の日制定に思う

昔の歌の文句に「人の子我が子の区別もせずに」というのがあるが、保母さんが公平な愛の持主でなければならず、更に保母さんがじつとしていたのでは仕事にならず、幼児のいるところ常に保母さんがいなければならぬのである。又「最初の教師は母にして最大の教師は母なり」という言葉の示す通り、子供とりわけ幼児は親が育てるべきだと私は信じている。

しかし、現代社会に於てはなかなかそうもいかず、親にかわつて保母さんがその大役を荷つているのである。

それだけに、この度制定された「保母の日」の意義は、いうまでもなく保母さんたちの「愛と汗」の仕事に、幼児を預ける親のみならず、すべての人々が、心からその労苦を認識し感謝し、併せて保母さん自身が自分たちの仕事の偉大さを改めて自覚する日だと信じている。

そして保母さんを養成する私たち養成機関の使命は、親にかわつて惜しみなく「愛と汗」をさし、べ流すことのできる人を育成する

長いこと、社会的にその仕事の功勞に対して報われる事が少なかつた保母にとつて、保育の重要さを広く一般に知らしめることは児童福祉の向上につながるものとして評価したい。今後の保育行政に光が差し込んできた感があるが、あく迄も趣旨が尊重されることと併せて、保母一人一人の専門職たるにふさわしい自覚が約束されるよう望む次第。「保母の日」広い意味で保育の日と解釈したい。

◇ 川崎市古市場保育園 居館良子

全国に先がけて保母の日が制定されたと聞きほんとうにうれしく思います。私など保母としてはまだまだ新米でこれからもいろいろと勉強を続けなくてはいけないのですが、この保母の日制定と共に私自身認識を新たに努力してゆきたいと思ひます。保母の日に恥じないように。

◇ 小田原城前寺保育園 松浦光良子

「保母の日」が制定されたことは私達の仕事に社会的に重要な役割をしているという事が内外的に認められたことであろう。

とかく、毎日の仕事を消化するのに精いっぱいであつたが、これを機に保母である、我身を反省し、又我々の周囲の子どもたちの状況を考え、よい保育環境づくりに励んでいきたいと思ひます。

◇ 下今泉保育園 服部トミ子

「保母の日」が制定された。ありがたいことだ、感謝しようというより、大変なことになつたという感じである。なぜなら「保母の日」が制定されたからには、現在保母として働く私達には、その日を意義ある日にしていく義務を自ら担うことになるからである。となれば、安易にその日の上にあぐらをかいてるわけにはいかない。しかし、日頃保母という職業をゆつくり省る余裕もない私達が、年に一度でも、その労を労り合い、その意義を確認し合い、それに対する情熱を再燃させることができれば、保母同志が自らの社会的地位の向上を自らの手で行なつていければ、「保母の日」制定ということが大変な意義をもつてくるであろう。

この日の制定が無駄にならないように、私達自身、いや私自身努力していかねばならないと、その責任を痛感しているところで、横浜市杉田幼児園 佐藤貴紀子

保母の日制定に寄せて
日頃、幼稚園には先生の日があり、研究発表会や、バス旅行等で、有意義な日を過ごしているのに、保育所には、どうしてさう云う日がないのか、疑問に思つていました。今回の制定は、保育現場に働くものにとつては、長い間待ち望んでいた事だと思ひます。保母の日を社会の人々にPRする事は良い事だと思ひますが、その内容の充実に計ることが今後の課題だと思ひます。

保母の仕事の実態を知らせ、理解を仰ぐには保母自身も幼児教育者としての自覚を持たなければと思ひます。そのためには、この制定を機会にし、(幼保一元化)の問題も考えていきたいと思ひます。保母の日が上からの押しつけでなく現場に働く人の盛り上がりで、有意義に過ごせるようになる事を希望します。

川崎地区公立園長会



ろうも ちを 灯を 一

昭和52年度
第13回

神奈川県保母賞受賞者

横浜市

あおぞら保育園
稲田 昌代

横浜市

聖徳保育園
梶 中 八重子

川崎市

厚生館愛児園
城 所 澄子

茅ヶ崎市

梅雲保育園
田 村 妙子

寒川町

さむかわ保育園
登 原 由子

川崎市

市立児童相談所
永 井 多賀子

厚木市

県立愛名学園
長谷川 徳子

保母賞を受賞して

梅雲保育園 田村 好子

この度は、はからずも保母賞受賞の栄に浴し感激と光栄で胸がいっぱいでございます。

これは偏りに私個人に与えられました栄誉とは申せなく保母の方々に賜ったものと考えております。私は保育の道に携わって長くも短かくも考えられる現在ですが、保育行政面では国や県に大変お世話になっておりますが一方実践面では教育と養護が表裏一体となつて保育されている現実は何時の日か教育、保育の現場の交流が実現するものと期待し役立つ人になりたいと思っております。

又、保母の身分法確立の声が日を追って高まっていますが、不安定な現在に於いて幼児期の人間形成の上に重要な役割りを果し努力を続けている保母の方々の為を受賞の喜びに酔う事なく、「保母と子供のおあわせ」の為に責任の重大さを噛みしめ私に科せられた使命を果していく所存でございます。

今回の受賞に当り、この喜びを分かち合い社会福祉の向上に邁進する覚悟でございます。

今後とも宣教にご指導、ご鞭撻下さいませようお願い申し上げます。

保母の日と私達のとりとせ

私達のとりとせにするために

園長先生方へ

「保母の日」制定がきまつて、ちよつぷりの不満と不安をもちつ

つも一番喜んでゐるのは、県保育会の安部会長でしょうか。安部氏は、この日の実現のために、婦人懇話会の諸先生方と手をとりあつて、それはそれは大変な苦勞をいたしました。彼は「保母の日」又は「保育まつり」の実現が、二十年來の夢だつたのです。

ちよつぷりの不満とは「保育の日」が「保母の日」になつたこと、不安とは、「保母の日」に行なわれる保母賞授賞式の会場がはたして満席になるだろうか、ということとです。しかしこのことは、会長だけが心配することではありません。保育会全員の問題です。「あな

たがたの力で、県立音楽堂のシートが埋りますか」とか、「保育会はいつとも他人の種で相撲をとる」などと面と向つていう人だつてい

るのです。くやしいじやありませんか。まあしかし、そういう人の事はさておいて、私達は、どうして、県立音楽堂の千二百余席を埋めなきゃならぬので

す。そうすることによつて、來年以後の「保母の日」が、更に有意義なものへと發展してゆくのだと思ひます。

「保母の日」制定にあつて、知事・副知事はじめ関係諸官の先取りの大英断に敬意を表しながら、この「保母の日」を「私達のもの」とするために、保護者会などに積極的にその意義をとぎ、協

神奈川県保母賞とは

「保母の日」制定にあつて、と定つたのが十月末日。無理を承知で引受けた編集子の厚顔無謀。にも拘らず諸兄弟の深甚なるご協力により曲りなりにも臨時号発車が出来、幸甚でした。ご同慶の至りです。

多年県内児童施設に勤務し、すぐれた業績をあげられた保母を、神奈川県知事が顕彰し、その功勞に報いることを目的に昭和四十年保母賞制度を發足させました。この賞は全国にさきがけた画期的なものであり、以來今回までに一三回と回を重ね七二名の保母が受賞の栄を得られ、後に続く多くの保母の指標となり活躍されております。

多数の玉稿をいただき乍ら止むなく割愛したことを深謝します。

文責 新日本保育園 鈴木栄一

力を求めて、できるだけ多数の保母が授賞式に参加できるように、園長諸先生方の御努力を切望する次第です。

保母の方々へ

「おしきせの保母の日には協力できない」と反対の狼煙をあげた保母がいます。しかし、この主張は間違ひです。諸君の先輩や同僚の代表が慎重に審議して決定をみたのですから、「おしきせ」ではありません。

「保母の日」制定はおめでたいことです。記念式に参列して、先輩授賞者の栄譽を讃え、

「保母の日」制定を喜び合ひましょう。そして、将来「保母の日」が、より有意義なものとなりますよう、私達の手で大切に育んで行

きましょう。後輩達のためにも。諸君。この手で、保母の日の式典を、成功させようではありませんか。

(岩瀬保育園長 富田英雄)